

和光の緑と湧き水だより Verda115号

NPO法人 和光・緑と湧き水の会 会報発行 2012.6. 25 代表理事 高橋絹世 (462-9912)
 身近な自然を知り親しみ守ろう <http://wako-wakimizu.org/>

6月の活動・川の調査および新倉保全、白子大坂保全、松枯れ研修会報告

1. 身近な川の一斉調査 6月3日

新河岸川水系連絡会に参加して白子川水辺から白子湧水群を調査対象に、5箇所、白子の滝、大阪ふれあいの森、富澤湧水、熊野神社の水質を調査し、生き物の観察も行った。



白子川	
気温	20度
水温	21度
PH	8
EC	260
COD	2
NO2-N	0.005
NH4-N	0.2
透視度	平均 80 cm

白子川水辺で透視度計による透明度測定 湧水池に沢山のヌマエビ



富澤湧水 (湧水道)	
気温	20度
水温	17.4度
PH	6.13
EC	159.5
COD	0
NO2-N	0.005 以下
NH4-N	0.2 以下

大坂で巨大なヘビトンボが羽化 富澤湧水に設置「白子湧水群」看板

2. 新倉ふれあいの森の保全 夏の草刈り、ササ刈り

約 2700m² の緑地に、雑木林の斜面と台地の草地、さらに登ると竹林がある。草地には 19 年に植樹した木がかなり成長してきた。成長中の草やササを刈り、みどりの保全を行った。



樹木も草も成長し、草を刈り、刈り草を集める。シートで、あるいは担いで運ぶ。いろいろ経験し体験。

3. 松枯れ研修会・24年6月7日 八廣園近藤氏から声掛けで

新座緑道整備を行なっている八廣園近藤氏から連絡を戴き、樹木医の原口氏から現地で講義をしていただいた。



丁度この季節にマツノマダラカミキリが成虫になる。松枯れの専門の樹木医原口氏のお話を新座緑道で伺うことが出来た。目の前で発見し原口氏も初めてとのこと。八廣園の近藤氏からのお誘いで、新座緑道での研修は大変有意義であった。